

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 30 年 2 月 3 日 13 時 45 分～16 時 00 分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 90 問で解答時間は正味 2 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例 1)の問題では a から e までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 1)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1) 201 歯科医業が行えるのはどれか。1 つ選べ。

- a 合格発表日以降
- b 合格証書受領日以降
- c 免許申請日以降
- d 臨床研修開始日以降
- e 歯科医籍登録日以降

(例 1)の正解は「e」であるから答案用紙の **e** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e
			↓		
201	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input checked="" type="radio"/>

答案用紙②の場合、

201	201
<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> a
<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> b
<input type="radio"/> c	<input checked="" type="radio"/> c
<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> d
<input type="radio"/> e	<input checked="" type="radio"/>

1 口唇裂・口蓋裂のチーム医療で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 治療方針は執刀医が決定する。
- b 医療の経済的効率化を目的とする。
- c 成長に合わせた包括的治療を行う。
- d 各職種が独自に治療目標を設定する。
- e 構成メンバーは医師と歯科医師に限られる。

2 受精の場はどれか。1つ選べ。

- a 膣
- b 子宮
- c 卵巣
- d 子宮広間膜
- e 卵管膨大部

3 国際生活機能分類(ICF)の背景因子として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 活動
- b 参加
- c 環境因子
- d 健康状態
- e 身体構造

- 4 全身性浮腫の診察時に圧痕を確認する部位はどれか。1つ選べ。
- a 肋間
 - b 下腹部
 - c 心窩部
 - d 脛骨前面
 - e 胸鎖乳突筋部
- 5 歯科診療を行う際、診断に最も妨げとなるうつ症状はどれか。1つ選べ。
- a 気力減退
 - b 食欲減退
 - c 体動遅延
 - d 疼痛多発
 - e 入眠困難
- 6 アミノ酸から合成されるのはどれか。1つ選べ。
- a ヒスタミン
 - b アルドステロン
 - c ロイコトリエン
 - d 血小板活性化因子
 - e プロスタグランジン

7 I型アレルギーの原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a シリカ
- b チタン
- c ニッケル
- d ラテックス
- e アルジネート

8 リハビリテーションで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 一次予防に該当する。
- b 疾病の治療を主目的とする。
- c 医療者が到達目標を設定する。
- d 自立が期待できる患者を優先する。
- e 発症早期からの開始が効果的である。

9 高齢者における循環の生理的特徴はどれか。1つ選べ。

- a 早朝の降圧
- b 脈圧の減少
- c 臓器血流の増加
- d 収縮期血圧の上昇
- e 圧受容器反射の亢進

10 顎頭間距離と関係するのはどれか。1つ選べ。

- a Balkwill 角
- b Bennett 角
- c Bonwill 三角
- d Fischer 角
- e Spee の彎曲

11 問題解決指向型診療録における SOAP の「A」にあたる事項はどれか。1つ選べ。

- a 鑑別診断
- b 検査所見
- c 指導計画
- d 治療結果
- e 治療方針

12 矯正治療の過程を図に示す。

医療面接 → ① → ② → 分析 → ③ → ④ → ⑤ → 動的治療 → 保定

④に入るのはどれか。1つ選べ。

ただし、①～⑤は a～e のいずれかに該当する。

- a 検査
- b 診察
- c 診断
- d 治療計画の策定
- e 治療目標の設定

13 CT(別冊No. 1)を別に示す。

捻髪音がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 1

14 真歯に必須の構造物はどれか。1つ選べ。

- a 歯 髓
- b 歯槽骨
- c 象牙質
- d エナメル質
- e セメント質

15 歯科治療時に患者が苦悶を呈した。その際の患者の写真(別冊No. 2)を別に示す。
考えられる病態はどれか。1つ選べ。

- a 心停止
- b 脳梗塞
- c 気道閉塞
- d 血圧上昇
- e 狭心症発作

別 冊 No. 2

16 穿刺吸引細胞診で診断可能なのはどれか。1つ選べ。

- a 歯牙腫
- b 腺様嚢胞癌
- c 骨形成線維腫
- d 線維性異形成症
- e セメント芽細胞腫

17 メタボリックシンドロームの診断基準項目はどれか。1つ選べ。

- a n-3系脂肪酸
- b n-6系脂肪酸
- c 総コレステロール
- d HDL コレステロール
- e LDL コレステロール

18 左心不全の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 多尿
- b 肝腫大
- c 下腿浮腫
- d 呼吸困難
- e 頸静脈怒張

19 細菌の遺伝子伝達様式である接合に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a 莢膜
- b 鞭毛
- c 性線毛
- d リポ多糖
- e バクテリオファージ

20 昏倒した患者に AED を装着した。

除細動を行う指示が出た後にまず行うべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 呼吸を確認する。
- b 頸動脈を触知する。
- c 人工呼吸を続ける。
- d 患者に触れないようにする。
- e 経口エアウェイを挿入する。

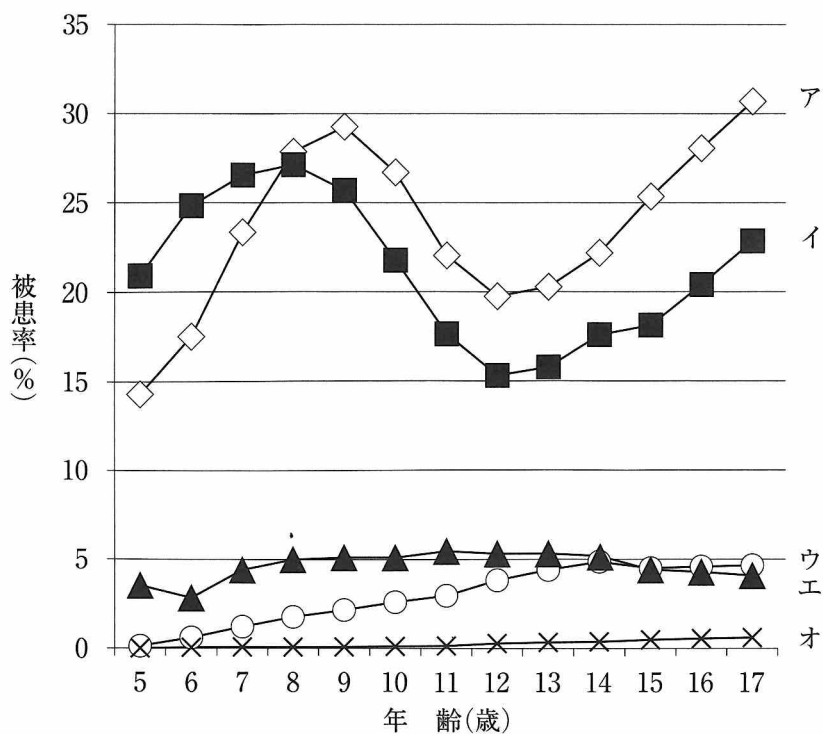
21 リスク因子の解析で、コホート研究に比べて患者対照研究が適しているのはどれか。1つ選べ。

- a 齲 蝕
- b 舌 癌
- c 歯周炎
- d 歯肉炎
- e 歯の喪失

22 付加型シリコーンゴム印象材の主成分はどれか。1つ選べ。

- a ポリエチレングリコール
- b ポリジメチルシロキサン
- c ポリエチルメタクリレート
- d ポリメチルメタクリレート
- e ポリテトラフルオロエチレン

23 平成 28 年度学校保健統計調査における年齢別の被患率の結果を図に示す。



イはどれか。1つ選べ。

ただし、ア～オは a～e のいずれかに該当する。

- a 歯肉に異常のある者
- b 顎関節に異常のある者
- c 歯列・咬合に異常のある者
- d むし歯(う歯)未処置歯のある者
- e むし歯(う歯)の処置が完了した者

24 感覚性神経節はどれか。2つ選べ。

- a 耳神経節
- b 膝神経節
- c 顎下神経節
- d 翼口蓋神経節
- e 下神経節〈錐体神経節〉

25 サルコペニアの診断に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 握力
- b 腹囲
- c 血糖値
- d 歩行速度
- e 血清アルブミン値

26 摂食嚥下障害に伴う機能低下と訓練の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開口量減少 ————— アイスマッサージ
- b 舌筋力低下 ————— 舌抵抗訓練
- c 食塊移送能低下 ————— 息こらえ嚥下
- d 喉頭挙上能低下 ————— 頭部挙上訓練
- e 声門閉鎖機能不全 ————— バルーン拡張法

27 遺伝子検査はどれか。3つ選べ。

- a サザンブロット法
- b ウェスタンブロット法
- c ガスクロマトグラフィー検査
- d *in situ* ハイブリダイゼーション法
- e Polymerase Chain Reaction(PCR)法

28 便が主な感染源となるのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹ウイルス
- b ロタウイルス
- c ムンプスウイルス
- d インフルエンザウイルス
- e 水痘・帯状疱疹ウイルス

29 IgG4 関連疾患はどれか。1つ選べ。

- a 粘液嚢胞
- b Mikulicz 病
- c Sjögren 症候群
- d アミロイドーシス
- e 壊死性唾液腺化生

30 長期臥床患者では全身麻酔後に肺血栓塞栓症を起こしやすい。

このリスクを判断するための検査項目はどれか。1つ選べ。

- a CK
- b PT
- c CRP
- d Dダイマー
- e 心筋トロポニン T

31 病原体に結合しオプソニン効果を示すのはどれか。2つ選べ。

- a IgG
- b 補 体
- c リゾチーム
- d ブラジキニン
- e トロンボキサン

32 2歳児の恐れの対象はどれか。3つ選べ。

- a 大きな音
- b まぶしい光
- c 一人でいること
- d 見慣れないもの
- e 危害を加えそうな人

33 第3鰓弓由来はどれか。1つ選べ。

- a 声帯筋
- b 顎舌骨筋
- c 茎突咽頭筋
- d 茎突舌骨筋
- e 口蓋帆張筋

34 偏心滑走運動時のクリステンセン現象を補償するのはどれか。2つ選べ。

- a 切歯路角
- b 咬頭の高さ
- c 顎路の傾斜度
- d 調節彎曲の程度
- e 咬合平面の傾斜度

35 母子保健法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 自立支援医療
- b 3歳児健康診査
- c 児童虐待への対策
- d 母子健康手帳の交付
- e 子ども・子育て支援給付

36 小児の薬用量の算定で年齢を用いるのはどれか。2つ選べ。

- a Augsberger の式
- b Clark の式
- c Crawford の式
- d von Harnack の換算表
- e Young の式

37 密度が最も小さいのはどれか。1つ選べ。

- a 金合金
- b 象牙質
- c チタン
- d ジルコニア
- e アルミナ陶材

38 細菌と病原因子の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* ———— ロイコトキシン
- b *Porphyromonas gingivalis* ———— 酪酸
- c *Prevotella intermedia* ———— デンティリジン
- d *Tannerella forsythia* ———— ジンジパイン
- e *Treponema denticola* ———— 莢膜

39 神経障害性疼痛の症状はどれか。1つ選べ。

- a 腫 脹
- b 発 疹
- c めまい
- d 意識障害
- e アロディニア

40 模型用石膏の硬化遅延剤はどれか。2つ選べ。

- a ホウ砂
- b 硫酸亜鉛
- c 硫酸カリウム
- d 塩化ナトリウム
- e クエン酸カリウム

41 成人と比較した乳児の生理的特徴はどれか。2つ選べ。

- a 心拍数が少ない。
- b 尿濃縮力が低い。
- c 基礎代謝率が低い。
- d 体重当たりの水分量が多い。
- e 体重当たりの体表面積が小さい。

42 歯周炎を随伴するのはどれか。3つ選べ。

- a Down 症候群
- b Sturge-Weber 症候群
- c Peutz-Jeghers 症候群
- d Chédiak-Higashi 症候群
- e Papillon-Lefèvre 症候群

43 矯正用プライヤーの写真(別冊No. 3)を別に示す。

角線の屈曲に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 3

44 高血圧症患者の歯科治療で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 局所麻酔は行わない。
- b 血圧と脈拍をモニタリングする。
- c 頰脈の場合は治療の中止を検討する。
- d 水平位診療では頭部を体幹より低くする。
- e 著しい血圧上昇にはニフェジピンを舌下投与する。

45 インテグリンと結合するのはどれか。2つ選べ。

- a ケラチン
- b エナメル素
- c アメロゲニン
- d オステオポンチン
- e フィブロネクチン

46 ろう義歯の口蓋形態を確認するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合力検査
- b パラトグラム検査
- c ブローイング検査
- d ポリソムノグラフィ
- e ゴシックアーチ描記法

47 85歳の男性。家族に義歯を隠されたと訴えて来院した。家族によるとその事実はないという。

この症状と同じカテゴリーに分類される認知症の症状はどれか。2つ選べ。

- a 異食
- b 失認
- c 不潔行為
- d 見当識障害
- e 実行機能障害

48 知覚過敏抑制を目的に歯磨剤に配合されるのはどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 塩化ナトリウム
- c グリチルリチン酸
- d 乳酸アルミニウム
- e 塩化セチルピリジニウム

49 非菌原性歯痛の原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a 貧血
- b 肝硬変
- c 白血病
- d 片頭痛
- e てんかん

50 根尖病変を有する根未完成歯に適用されるのはどれか。1つ選べ。

- a 抜髄
- b 生活断髄
- c 暫間的間接覆髄
- d アペキソゲネーシス
- e アペキシフィケーション

51 アドレナリン添加の局所麻酔薬は α_1 遮断作用をもつ抗精神病薬と併用禁忌である。

併用によって起こり得るのはどれか。1つ選べ。

- a 徐脈
- b 頻脈
- c 血圧上昇
- d 血圧低下
- e 呼吸促迫

52 50歳の女性。上顎右側側切歯の審美不良を主訴として来院した。10年前に修復処置を受けたが、1年前から気になっていたという。特に症状はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 4)を別に示す。

考えられる原因はどれか。1つ選べ。

- a 磨耗
- b 過剰填塞
- c 口腔清掃不良
- d 接着操作時の血液の混入
- e コントラクションギャップ

別冊

No. 4

53 床用金属で最も高い融点を有するのはどれか。1つ選べ。

- a 白金加金
- b チタン合金
- c タイプ4金合金
- d 金銀パラジウム合金
- e コバルトクロム合金

54 歯科治療時の偶発症で、血圧は保たれているが意識障害を伴うのはどれか。2つ選べ。

- a 過換気症候群
- b 局所麻酔薬中毒
- c 血管迷走神経反射
- d 高度房室ブロック
- e アナフィラキシーショック

55 7歳時のターミナルプレーンは両側垂直型であったが、12歳時での第一大臼歯の咬合関係は両側とも Angle I 級となった。

この変化に関与したのはどれか。2つ選べ。

- a 乳犬歯の咬耗
- b 顎間空隙の減少
- c 二次空隙の発現
- d 霊長空隙の閉鎖
- e リーウェイスペースの存在

56 急性壊疽性歯髄炎にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 瘻孔
- b 自発痛
- c 動揺度の増加
- d 髄室開拓時の腐敗臭
- e 歯髄電気診での無反応

57 外科的矯正治療中の一連の口腔内写真(別冊No. 5)を別に示す。

治療過程の順番に並べた場合、2番目はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別冊

No. 5

58 41歳の男性。洗顔時の右側頬部の疼痛を主訴として来院した。6か月前から右側鼻翼部にチクチクするような疼痛を自覚し、その後電撃痛へと変化したという。また、痛みが発生すると疼痛は数秒間持続するという。

診断のために有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 眼窩下孔の圧迫
- b ビタミン B₁₂ の投与
- c 星状神経節ブロック
- d カルバマゼピンの投与
- e 眼窩下孔のアルコールブロック

59 半固定性ブリッジの適応となるのはどれか。3つ選べ。

- a 審美性の要求が高い。
- b 中間支台歯が含まれる。
- c 支台歯間で動揺度に差がある。
- d クラウンの高径が不足している。
- e 支台歯間に平行性が得られない。

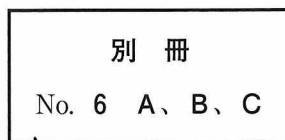
60 進行性下顎頭吸収(PCR)による変化はどれか。2つ選べ。

- a FMA の増加
- b Y 軸角の減少
- c 顔面角の増加
- d SNB 角の減少
- e ANB 角の減少

61 9歳の男児。上顎左側中切歯が生えてこないことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 6A)、エックス線画像(別冊No. 6B)及び歯科用コーンビームCT矢状断像(別冊No. 6C)を別に示す。

今後、1において起こり得る異常はどれか。1つ選べ。

- a 歯根吸収
- b 歯髄壊死
- c 歯冠の矮小化
- d 歯根形成不全
- e エナメル質形成不全



62 酸性モノマーで歯面処理を行う接着システムはどれか。3つ選べ。

- a 3ステップシステム
- b 2ステップセルフエッチングシステム
- c ウェットボンディングシステム
- d 2ボトル1ステップシステム
- e オールインワンシステム

63 3歳児歯科健康診査において、事前に保護者に問診票を配布することとした。適切な質問はどれか。3つ選べ。

- a 離乳食をはじめましたか。
- b いつも指しゃぶりをしていますか。
- c 仕上げ磨きをしてあげていますか。
- d 歯磨きの練習ははじめていますか。
- e フッ化物(フッ素)歯面塗布をしていますか。

64 コクサッキーウイルスの感染によるのはどれか。2つ選べ。

- a 猩紅熱
- b 乳頭腫
- c 手足口病
- d 伝染性単核症
- e ヘルパンギーナ

65 造影CTで用いるヨード系造影剤の原則禁忌とされているのはどれか。1つ選べ。

- a 血管腫
- b 脂肪腫
- c 悪性黒色腫
- d 神経線維腫
- e 多発性骨髄腫

66 18歳の男子。咬合異常を主訴として来院した。2日前に自転車で転倒してオトガイ部を強打したという。初診時のエックス線画像(別冊No. 7)を別に示す。

適切な治療法はどれか。2つ選べ。

- a 圍繞結紮
- b ミニプレート固定
- c 床副子を用いた顎内固定
- d 線副子を用いた顎内固定
- e 線副子を用いた顎間固定

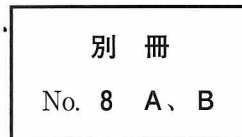
別 冊

No. 7

67 67歳の男性。入れ歯の針金に食渣が挟まることを主訴として来院した。3年前にレジン床義歯を製作したが、比較的早期からクラスプと支台歯との隙間を認めたという。クラスプを再製作し、現有義歯の修理を行うこととした。義歯装着時の口腔内写真(別冊No. 8A)と上顎左側犬歯の支台装置の写真(別冊No. 8B)を別に示す。

クラスプ製作に際し③について検討すべき事項はどれか。2つ選べ。

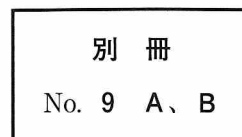
- a 最大豊隆部の修正
- b デンプルの付与
- c 義歯着脱方向の確認
- d 側方運動時の咬合調整
- e レストシートの形態修正



68 15歳の女子。飲水時の上顎臼歯部における疼痛を主訴として来院した。歯の表面性状は萌出してから変化はないという。皮膚に異常は認められない。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A)とエックス線画像(別冊No. 9B)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 骨形成不全症
- b 歯のフッ素症
- c 先天性表皮水疱症
- d エナメル質形成不全症
- e 先天性外胚葉異形成症



69 生後1か月の乳児。哺乳障害がみられたため、小児科からの紹介で来院した。出生直後から仰臥位で吸気時の喘鳴とチアノーゼがみられるという。初診時の側貌写真(別冊No. 10A)、口腔内写真(別冊No. 10B)及び頭部側方向エックス線写真(別冊No. 10C)を別に示す。

考えられる疾患はどれか。1つ選べ。

- a Down 症候群
- b Apert 症候群
- c Crouzon 症候群
- d Robin シークエンス
- e Beckwith-Wiedemann 症候群

別 冊

No. 10 A、B、C

70 4歳の男児。上顎右側第一乳臼歯の食事時の違和感を主訴として来院した。3か月前からDの齲蝕に気付いていたがそのままにしていたところ、2週間前から歯肉が腫れてきたという。自発痛はないが軽度の咬合痛がある。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)とエックス線画像(別冊No. 11B)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 咬合調整
- c 生活断髄
- d 抜 髄
- e 感染根管治療

別 冊

No. 11 A、B

71 45歳の女性。上顎右側中切歯の審美不良を主訴として来院した。15年前にコンポジットレジン修復を受けたという。特に症状はない。補修修復を行うこととした。初診時と窩洞形成後の口腔内写真(別冊No. 12)を別に示す。

1)に対する処理で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸
- b フッ化水素酸
- c 硫黄系機能性モノマー
- d 次亜塩素酸ナトリウム
- e シランカップリング剤

別 冊

No. 12

72 68歳の女性。左側下顔面の疼痛を主訴として来院した。3日前から左側下顔面に発赤を伴う水疱が出現し、聴覚過敏とめまいを自覚するという。初診時の顔貌写真(別冊No. 13)を別に示す。

原因療法に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a アシクロビル
- b プレドニゾロン
- c ミコナゾール硝酸塩
- d アモキシシリン水和物
- e ロキソプロフェンナトリウム水和物

別 冊

No. 13

73 75歳の女性。下顎全部床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。これまでに製作した義歯は不安定であったため、インプラント義歯を製作することとした。治療中の口腔内写真(別冊No. 14)を別に示す。

装着する義歯の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 術者可撤式である。
- b 非緩圧型の構造とする。
- c 磁氣的吸着力を利用する。
- d 大臼歯部に人工歯を排列しない。
- e 顎堤条件にかかわらず維持力を発揮する。

別 冊

No. 14

74 32歳の男性。上顎右側第二大臼歯の自発痛を主訴として来院した。歯の保存が可能と診断し、麻酔抜髄を行うこととした。初診時のエックス線画像(別冊No. 15 A)と修復物除去後の口腔内写真(別冊No. 15 B)を別に示す。

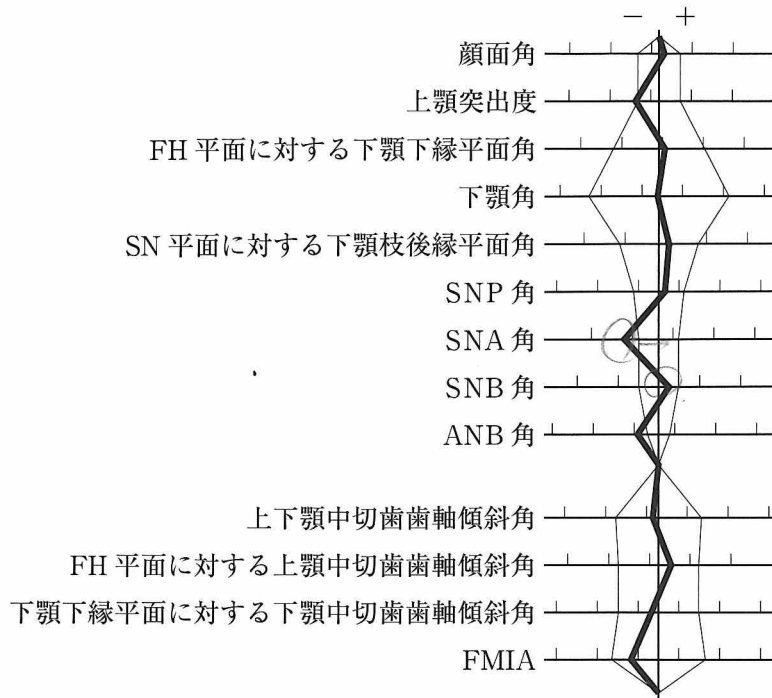
無菌的処置を行うために必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 隔壁形成
- b 歯間離開
- c 歯肉圧排
- d 歯肉整形
- e ケミカルサージェリー

別 冊

No. 15 A、B

75 7歳の男児。前歯の咬み合わせが反対になっていることを主訴として来院した。乳歯列も同様であったという。診断の結果、矯正治療を開始することとした。初診時の顔面写真(別冊No. 16A)、口腔内写真(別冊No. 16B)及びエックス線画像(別冊No. 16C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



第一期治療で行うのはどれか。3つ選べ。

- a 下顎骨の成長抑制
- b 上顎骨の前方牽引
- c 下顎前歯の舌側傾斜
- d 上顎歯列の側方拡大
- e 上顎右側中切歯の萌出誘導

別冊
No. 16 A、B、C

76 30歳の男性。睡眠中の歯ぎしりを主訴として来院した。数年前から歯ぎしり音を家族に指摘されていたという。検査の結果、ある口腔内装置を装着することとした。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A)と側方運動時の口腔内写真(別冊No. 17B)、使用前の装置の写真(別冊No. 17C)及び1週使用後の装置の写真(別冊No. 17D)を別に示す。

本装置について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 開口量を抑制する。
- b 側方滑走を抑制する。
- c 歯の咬耗進行を防ぐ。
- d 終日装着が必要である。
- e 清掃時には熱湯に浸す。

別 冊 No. 17 A、B、C、D

77 86歳の女性。かかりつけ歯科医で舌の腫瘤を指摘され来院した。右側舌縁部に硬結を伴う腫脹を認める。頸部に腫大したリンパ節は触れない。初診時の口腔内写真(別冊No. 18A)、造影CT(別冊No. 18B)、FDG-PET/CT(別冊No. 18C)、MRI 脂肪抑制造影 T1 強調像(別冊No. 18D)及び生検時の H-E 染色病理組織像(別冊No. 18E)を別に示す。

適切な治療法はどれか。1つ選べ。

- a 開窓
- b 切開排膿
- c 外科的切除
- d 抗菌薬投与
- e 副腎皮質ステロイド軟膏塗布

別冊
No. 18 A、B、C、D、E

78 17歳の女子。上顎前歯の前突を主訴として来院した。術前矯正治療後に顎矯正手術を行うこととした。手術中の口腔内写真(別冊No. 19)を別に示す。

この手術法はどれか。1つ選べ。

- a Dingman 法
- b Robinson 法
- c Wunderer 法
- d Le Fort I 型骨切り術
- e Obwegeser-Dal Pont 法

別冊
No. 19

79 53歳の女性。下顎前歯欠損による審美不良を主訴として来院した。ジルコニアを用いたオールセラミックブリッジで補綴処置を行うこととした。製作過程の写真(別冊No. 20A、B)と完成したブリッジを装着した口腔内写真(別冊No. 20C)を別に示す。

20Bから20Cの間に歯科医師が歯科技工士に行った指示はどれか。1つ選べ。

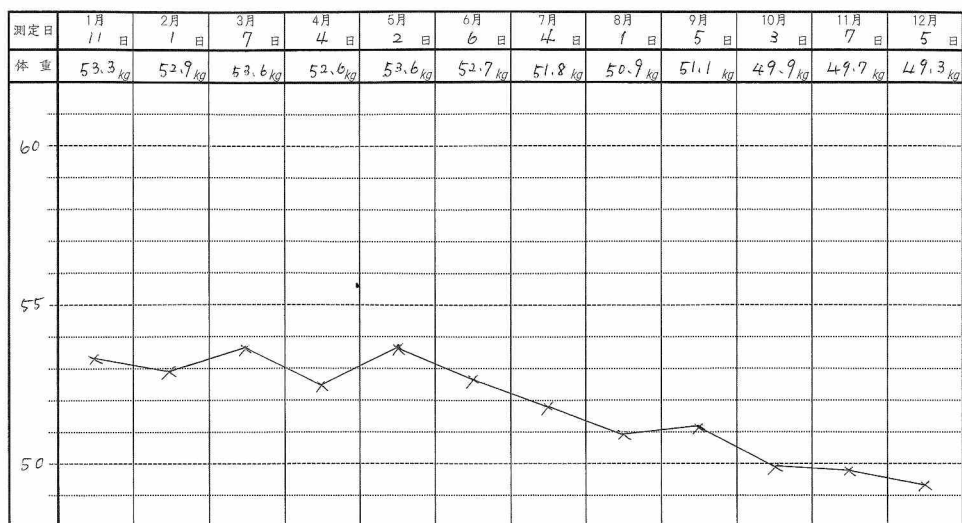
- a 「模型をスキャンしてください」
- b 「コーピングの焼結をお願いします」
- c 「リテンションビーズを付与してください」
- d 「陶材焼成とグレージングをお願いします」
- e 「ポンティック基底面を船底型にしてください」

別 冊

No. 20 A、B、C

80 75歳の男性。食事摂取の困難を主訴として、介護老人福祉施設から訪問歯科診療の依頼があった。約1か月前から食事時間が延長し、摂取量は著しく減少しているという。認知症はあるが他に特記すべき疾患はない。BMIは18.1であった。使用中の義歯に問題はなかった。食事観察では、隣席の入所者の動きに気をとられ、しばしば食事を中断していた。過去1年間の体重変化を図に示す。

体重記録 (2016 年)



適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 経過を観察する。
- b 胃瘻の造設を勧める。
- c 嚥下機能訓練を行う。
- d 声かけをして食事を促す。
- e 栄養補助食品の摂取を勧める。

81 11歳の女兒。上顎両側犬歯部の空隙を主訴として来院した。前歯部の被蓋関係は正常である。初診時の口腔内写真(別冊No. 21A)、エックス線画像(別冊No. 21B)及び歯科用コーンビームCT(別冊No. 21C)を別に示す。

まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 上顎中切歯間の空隙閉鎖
- c 上顎両側犬歯の開窓牽引
- d 上顎両側側切歯の歯内療法
- e 上顎両側第一小臼歯の近心移動

別 冊

No. 21 A、B、C

82 67歳の女性。笑ったときの歯並びの違和感を主訴として来院した。装着中の義歯は1年前に製作したという。義歯装着時の正貌写真(笑ったとき)と側貌写真(別冊No. 22A)及び咬合時の口腔内写真(別冊No. 22B)を別に示す。

改善すべき項目はどれか。2つ選べ。

- a 咬合高径の低下
- b 下顎前歯の唇舌的位置
- c 上下顎正中線の不一致
- d リップサポートの不足
- e スマイルラインとの不調和

別 冊

No. 22 A、B

83 9歳の女兒。嚥下時の鼻腔への逆流があることを主訴として来院した。軟口蓋の運動障害を認めたため装置を使用することとした。装着時の口腔内写真(別冊No. 23)を別に示す。

装置の効果を確認するための検査として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 筋電図検査
- b 超音波検査
- c 改訂水飲みテスト
- d 鼻咽腔内視鏡検査
- e 反復唾液嚥下テスト

別 冊

No. 23

84 23歳の女性。開口障害を主訴として来院した。4か月前から右側顎関節のクリック音を自覚していたが、3日前に口が開かなくなったという。右側顎関節部の圧痛と開口時痛を認める。右側顎関節のMRI(別冊No. 24A)と切歯点開閉口運動路を正面から観察した図(別冊No. 24B)を別に示す。

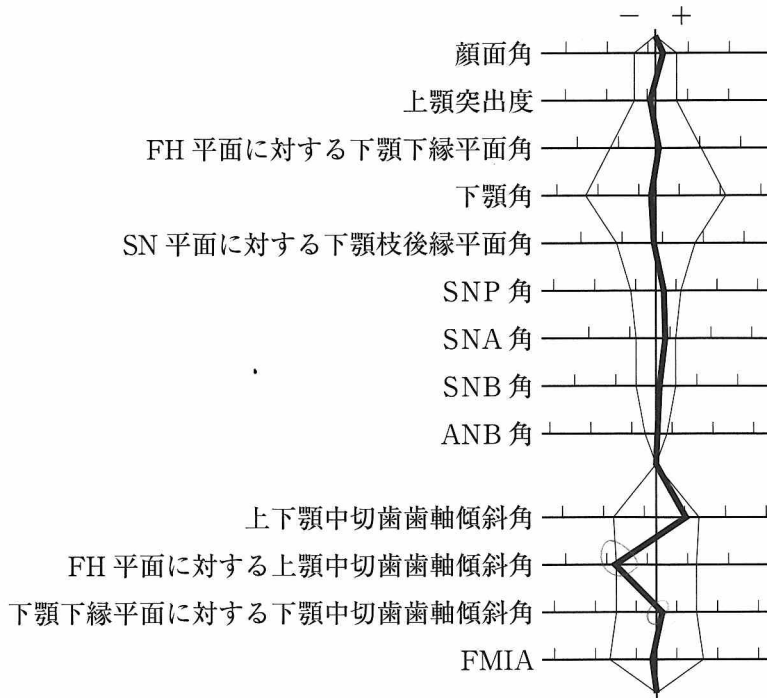
まず行う対応はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 下顎可動化訓練
- c 顎関節円板切除術
- d 中枢性筋弛緩薬の投与
- e 非ステロイド性抗炎症薬の投与

別 冊

No. 24 A、B

85 / 8歳の男児。反対咬合を主訴として来院した。生後6か月時に口唇形成術を受けたという。初診時の顔面写真(別冊No. 25A)、口腔内写真(別冊No. 25B)、エックス線画像(別冊No. 25C)及び歯科用コーンビームCT(別冊No. 25D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な治療方針はどれか。2つ選べ。

- a 顎裂部骨移植術
- b 下顎歯列の側方拡大
- c 下顎前歯の舌側移動
- d 上顎前歯の唇側移動
- e 上顎骨の前方成長促進

別冊
No. 25 A、B、C、D

86 25歳の女性。上顎左側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うこととした。初診時と修復物除去後の口腔内写真(別冊No. 26 A)及び切削器具の写真(別冊No. 26 B)を別に示す。

次に用いる切削器具はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊 No. 26 A、B

87 67歳の男性。下顎前歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。1か月前に気付き、徐々に大きくなってきたという。オトガイ部の感覚に異常はなく、顎下リンパ節とオトガイ下リンパ節の腫脹もない。初診時の口腔内写真(別冊No. 27 A)、エックス線画像(別冊No. 27 B)及び生検時のH-E染色病理組織像(別冊No. 27 C)を別に示す。

適切な治療法はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉切除
- b 32の抜歯
- c 下顎辺縁切除
- d 下顎区域切除
- e 放射線治療

別 冊 No. 27 A、B、C

88 15歳の男子。下顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。歯髄電気診に生活反応を示すが、打診痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 28 A)とエックス線画像(別冊No. 28 B)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b フッ化物歯面塗布
- c ボンディング材によるコーティング
- d 修復処置
- e 抜 髄

別 冊
No. 28 A、B

89 50歳の女性。上顎左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。欠損部にインプラント体を埋入し、最終補綴装置を装着した。治療過程の順に並べた写真(別冊No. 29 A、B、C)を別に示す。

矢印で示す装置の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 遊離端欠損症例は適応とならない。
- b CAD/CAM を応用して製作される。
- c クラウンとスクリューで固定される。
- d インプラント体埋入と同日に装着される。
- e プロビジョナルクラウン装着が必要である。

別 冊
No. 29 A、B、C

90 76歳の男性。上顎義歯が外れやすいことを主訴として来院した。上顎全部床義歯は3年前に製作したという。検査の結果、咬合関係には問題が認められなかったため、間接法によるリラインを行うこととした。一連の操作過程の写真(別冊No. 30)を別に示す。

操作の過程を実施の順番に並べよ。

解答：① → ② → ③ → ④ → ⑤

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊 No. 30
